

令和5年度 第2回 大野市公共交通活性化協議会

議事録概要

○日 時：令和5年8月23日（水）14：00～15：45

○場 所：大野市役所 2階 大会議室

◆次 第

1 開会

2 報告事項

(1) 大野市公共交通に関するアンケート調査結果<確定版>について

概要：事務局より資料1、8に基づき説明

意見なし

(2) まちなか循環バスの車両について

概要：大野観光自動車 長谷川敦俊委員より資料9に基づき説明

意見：ボンネットバスをイベント時に利用する場合の運行方法は？

長谷川敦俊委員：イベントの時には「乗合」から「貸切」に変更して運行予定。

意見：車内につり革は無いのか。

長谷川敦俊委員：手すりを利用。以前も乗合バスとして利用されており、当時もつり革は無かった。また、シートベルトを新たに設置。

3 議題

(1) 京福バス大野車庫の移転について（予定）

概要：京福バス 松田委員より資料10に基づき説明

意見：移転後も引き続きダイコー整備で乗車券等を販売しないのか？

松田委員：販売機を移設する予定。ダイコー整備では12月までとしたい。移転に伴い土日も販売が可能となる見込みで利便性が高まる面もある。

意見：車庫移転に伴い駐泊地との間に距離が生じるなどし、車両整備や円滑な運行に向けた安全管理を徹底してほしい。

松田委員：移転までに安全体制を整えたい。

結果：安全面の対応を実施することで、承認

(2) 自家用有償旅客運送の更新登録（R5.10～R8.9）について

概要：事務局より資料2に基づき説明

意見なし

結果：承認

(3) 大野市地域公共交通計画策定について

① 公共交通ネットワーク再構築の進捗について

概要：事務局より資料3、4に基づき説明

意見：乗合タクシー、和泉乗合バスの会員になる基準は設けるのか？

事務局：大野市民であること以外、会員の基準は設けない予定。会費も徴収しない。

意見：和泉乗合バスはデマンド運行に一部、定時運行が混在している。会員の場合、自宅まで迎えに来てくれるが、それと定時運行との整理は？

事務局：小中学生の通学を最優先とし、協議の中で一部定時便を設けた。運行にあたっては仮に会員であっても当時間帯は停留所まで来てもらうなどとし、地元と調整したい。

結果：定時運行時の対応や会員の基準を引き続き検討することで、承認。

② 大野市地域公共交通計画案について

概要：事務局より資料5～7に基づき説明

委員：令和6年度以降のネットワーク図中、京福バス大矢戸線の線が無い、薄いように見えるが意図は？

事務局：京福バスの運行は令和6年3月末までと伺っている。その後の対応は、これから地元に対し説明・協議する予定であり、現時点ではこのような表現している。

委員：リアルタイム運行情報の提供は、どの路線を想定？

事務局：まちなか循環バス、市営バス和泉大野線、そして、和泉乗合バスを想定。

委員：和泉乗合バスの利用方法に関する問い合わせがあったりする。今後、住民への丁寧な説明が必要。

委員：交通は地域のまちづくりとの連携が不可欠。居住誘導等と整合した公共交通計画としてほしい。

委員：市民アンケート結果を踏まえた施策となっているか、計画案から見えてこないし、施策にもっと濃淡があつて良い。5年間で注力する取り組みを整理しては。

事務局：車を運転できない高齢者等の移動支援に対するニーズが高かったことを踏まえ、高齢者や障がい者等の支援に関する施策を盛り込んでいる。

結果：以下③の指標を再検討した上で計画策定を進めることで、承認

③ 評価指標の考え方と目標値について（②と一括して協議）

概要：事務局より資料11に基づき説明

委員：広域交通の目標値は、交通事業者と相談するものではなく市の考えが必要では？

事務局：交通事業者との整合も必要と考え、資料にある記載とさせていただいた。

委員：評価指標が「利用者」、「収支率」、「財政負担額」で良いか。交通サービスを提供する者としての目標が必要では？

事務局：（上記指標は）国からも必須として求められている項目。目標と評価指標との関連性が弱い点はある。

委員：目標に対する適した評価指標があつた上で、それらの全体的な評価指標が、「利用者数」、「収支率」、「財政負担額」になるように思う。

委員：評価指標は、改めて会長と事務局とで検討し、設定いただきたい。

結果：指標を再検討した上で計画策定を進めることで、承認

4 その他

5 閉会